



前南進路だより

R7・第29号 3月23日発行

1、国公立大 中期・後期日程合格発表

3月20日（金）から本日23日（月）において、国公立大の中期・後期日程の合格発表が行われました。中期・後期日程の試験は卒業式後に行なわれ、3年生は最後まで粘り強く受験をしてくださいました。募集人員が少なく志願者数が多いことから、志願者倍率は2桁を超えるケースは珍しくありません。ただ、前期日程の合格者や私立大に進路先を決めた受験生は、試験を辞退（欠席）することも多く、実質倍率は下がり合格のチャンスも増えます。ここでは、2026年度入試の県内の国公立大の受験状況と、2023～2025年度の実質倍率の推移を紹介します。

(1) 2026年 県内 国公立大 中期・後期日程 ※高経（経済）のみ中期日程

大学	学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
群馬	理工（物質・環境）	28	243	—	28	—
	理工（電子・機械）	18	162	—	23	—
	情報（小論文重視）	12	114	—	14	—
	情報（共テ重視）	12	74	—	19	—
	医（保健・看護）	15	167	—	17	—
	医（保健・検査）	12	87	—	14	—
	医（保健・理学）	4	42	—	4	—
	医（保健・作業）	2	36	—	6	—
高経	経済	240	2,936	1,508	501	3.0
	地域政策 （5教科5科目）	50	1,170	513	165	3.1
	地域政策 （3教科3科目）	50				
県立女子	文（国文）	5	79	—	5	—
	文（美学美術史）	5	60	—	6	—
	文（英米文化）	5	47	—	5	—
	文（文化情報）	5	41	—	7	—
	国際コミュ	5	100	—	5	—

※群馬・県立女子大の受験者数等は、まだ公表されていません。

(2) 2023～2025年 県内国公立大 中期・後期日程 実質倍率推移

大学	学部・学科	年度	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率	合格最低点
群馬	理工 （物質・環境）	2025	174	52	34	1.5	—
		2024	241	72	35	2.1	—
		2023	298	91	31	2.9	—
	理工 （電子・機械）	2025	193	56	18	3.1	—
		2024	165	55	24	2.3	—
		2023	226	80	29	2.8	—

	情報	2025	341	146	28	5.2	—
		2024	190	79	43	1.8	—
		2023	291	110	30	3.7	—
	医 (保健・看護)	2025	163	65	23	2.8	—
		2024	118	35	19	1.8	—
		2023	201	74	20	3.7	—
	医 (保健・検査)	2025	99	43	14	3.1	—
		2024	164	69	12	5.8	—
		2023	74	30	12	2.5	—
	医 (保健・理学)	2025	50	20	5	4.0	—
		2024	46	21	4	5.3	—
		2023	47	18	11	1.6	—
医 (保健・作業)	2025	42	21	5	4.2	—	
	2024	31	11	5	2.2	—	
	2023	47	18	11	1.6	—	
高経	経済 ※中期	2025	3,050	1,636	513	3.2	451/700
		2024	2,806	1,339	525	2.6	415/700
		2023	2,939	1,585	524	3.0	451/700
	地域政策	2025	1,184	517	180	2.9	452/700 (3教科)
		2024	1,192	482	177	2.7	406/700 (3教科)
		2023	1,367	531	165	3.2	423.5/700 (3教科)
県立女子	文(国文)	2025	105	38	5	7.6	470.8/620
		2024	70	17	5	3.4	414.1/620
		2023	94	33	5	6.6	447.8/620
	文 (美学美術史)	2025	53	17	7	2.4	395/620
		2024	63	23	8	2.9	435/620
		2023	60	18	6	3.0	421/620
	文 (英米文化)	2025	62	17	6	2.8	440/620
		2024	91	16	5	3.2	433/620
		2023	81	24	15	1.6	379/620
	文 (文化情報)	2025	46	23	5	4.6	360.5/620
		2024	44	14	5	2.8	299.5/520
		2023	20	4	1	4.0	—
	国際コミュ	2025	114	28	5	5.6	346.1/400
		2024	66	16	8	2.0	303.6/400
		2023	81	24	6	4.0	298.5/400

県内の国公立大における中期・後期日程で合格者数が多い大学は、群大（理工学部・情報学部）、高経（経済・地域政策学部）となります。2025年度の理工学部（物質・環境）においては、実質倍率は1.5倍であったことから、後期日程でも合格のチャンスがありました。また、高経の経済学部（中期）は、共通テスト300点（3教科3科目）・2次試験科目400点【英・数・国・地公から2科目】、地域政策学部（後期）も共テ950点（5教科5科目）もしくは300点（3教科3科目）、2次試験【小論文】が300点であるため、2次試験科目の得点により合格の可能性は十分にあります。